

## 「第3回徳山ダム環境保全対策委員会」審議内容メモ

日時：平成13年3月6日 13：30～16：07

場所：名古屋通信会館 6階 葵の間

出席者：(委員)佐藤委員長、阿部委員、駒田委員、前田委員、松井委員、  
中村委員、西條委員  
(事務局)水資源開発公団、ダム水源地環境整備センター他

### 【審議内容等】

1. 前回委員会の審議内容確認  
第二回委員会の審議内容を確認した。
2. 流域環境の検討結果について  
徳山ダム流域の自然環境保全にとって、流域の東西端に分布する「成熟した生育・生息環境」を繋ぐように、標高400～800m付近に分布する「ほぼ成熟した生育・生息環境」を保全することの重要性を確認した。
3. 事業の進捗状況と平成13年度の工事予定  
現在まで工事実施状況、平成12年度の環境保全の取り組みを確認した。  
平成13年度の工事実施予定について、環境保全の取り組みについて確認した。工事の予定場所への環境巡視の強化の指導があった。
4. 付替国道・県道計画における自然環境への配慮について  
非公開審議中の審議内容  
委員会規約第5条に基づき、14時39分から15時34分(55分間)記者に退席頂き、ワシタカ類の分布及び道路計画の案等について審議した。  
審議内容は次の通り。
  - 1)繁殖活動状況について確認した。
  - 2)最新の環境調査の情報を踏まえて、道路計画(案)について審議した。  
付替国道・県道計画(案)について、次の意見をいただいた。
    - 1)今回示された案は、これまでの計画に比べて、地形変化が大幅に少なくなっており、ワシタカ類や自然環境という面から最大限の配慮がされているものであると評価される。
    - 2)ワシタカ類への配慮は他の生物種への配慮にもつながるものと判断される。
    - 3)今後とも、モニタリングを継続し生物の生息状況を確認するとともに、工事実施上の配慮も行っていくこと。

5．プロジェクトの活動状況及び今後の活動方針

各プロジェクトの活動状況と今後の活動方針について審議された。その概要は次のとおりであった。

5．1 プロジェクトの活動状況

各プロジェクトの活動報告を行った。ワシタカではCCDカメラによる観察データに基づく、科学的なデータの記録と解析の必要性を指摘された。

5．2 今後の活動方針

陸域環境プロジェクト

陸域環境プロジェクトを「植物プロジェクト」、「生育・生息環境プロジェクト」、「貯水池末端プロジェクト」の三つに分け、その各プロジェクトにおけるリーダーを定め、具体的な検討テーマごとチーフを決めた。

6．その他

岐阜県の水源地生態系保全区域指定に関連して、より実効があり、かつ委員会の指導・助言と整合がとれたものとするため、委員会の意見等を関係機関に伝えるべく提案があった。